

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 58' 24.77"		
				経度	140° 8' 16.02"		
緑橋 (フリガナ)ミドリハシ	乙部漁港線	北海道爾志郡乙部町字館浦					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.2.6	姫川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01					
	横桁								
	床版								
下部構造		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工02					
支承部		I							
その他		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として断面修復の実施が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">起点</div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;">終点</div> </div>
2000年	98m	11.0m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 2' 49.29"		
				経度	140° 5' 5.49"		
極楽橋 (フリガナ)ゴクラクハシ	花磯2号線	北海道爾志郡乙部町字花磯					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.27	蚊桂川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	日本データサービス(株)	点検責任者	神尾 友二
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出 写真001,主桁01				
	横桁						
	床版						
下部構造	II	ひびわれ	写真004,下部工01				
支承部							
その他	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)				
点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、ひびわれ補修、断面修復の実施が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">起点</div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;">終点</div> </div>
1965年	3m	3.40m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 59' 35.13"		
				経度	140° 9' 30.33"		
光陽橋 (フリガナ)コウヨウバシ	館ノ上鳥山線	北海道爾志郡乙部町字鳥山					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.2.8	小茂内川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01				
支承部		II	腐食	写真005,支承部101				
その他		II	腐食	写真006,高欄・防護柵01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置としてひびわれ補修、断面修復の実施が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1990年	21m	5.0m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 58' 20.34"		
				経度	140° 8' 45.6"		
はやせ橋 (フリガナ)ハヤセハシ	館浦牧場線	北海道爾志郡乙部町字緑町					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.2.7	姫川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	II	腐食	写真001,主桁01					
	横桁	II	腐食	写真002,横桁01					
	床版	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真003,床版01					
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01					
支承部		II	腐食	写真005,支承部101					
その他		II	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置としてひびわれ補修、断面修復の実施が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1995年	64m	7.50m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 0' 48.27"		
				経度	140° 6' 21.9"		
元和1号橋 (フリガナ)ケンナイゴウキョウ	元和1号線	北海道爾志郡乙部町元和					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.31	タキノシタ川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録					措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01					
	横桁								
	床版								
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01					
支承部									
その他		II	腐食	写真006,高欄・防護柵02					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置としてひびわれ補修、断面修復の実施が望ましい。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>起点</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>終点</p> </div> </div>
1988年	3m	6.20m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 0' 59.12"		
				経度	140° 6' 16.11"		
元和2号橋 (フリガナ)ケンナニゴウキョウ	元和1号線	北海道爾志郡乙部町字元和					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.30	新谷川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)	点検責任者		神尾友二
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	ひびわれ	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部							
その他		II	腐食	写真006,高欄・防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	予防処置としてひび割れ補修、断面修復の実施が望まれる。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1988年	3m	7.50m
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>起点</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%; text-align: center;"> <p>終点</p> </div> </div>		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 1' 6.29"			
				経度	140° 6' 6.27"			
元和3号橋 (フリガナ)ケンナサンゴウキョウ		元和1号線	北海道爾志郡乙部町字元和					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
北海道乙部町	2017.2.9	可笑内川	有	一般道				

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)			点検者	日本データサービス(株)	点検責任者	神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		II	洗掘	写真004,下部工01			
支承部		I					
その他		II	腐食	写真006,高欄・防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)		
点検時に記録		措置後に記録
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)
II	予防処置として主桁の断面修復の実施が望ましい。	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">起点</div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 30%;">終点</div> </div>
1975年	15m	6.0m		

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 1' 12.33"		
				経度	140° 6' 13.67"		
元和4号橋 (フリガナ)ケンナヨコウハン	元和1号線	北海道爾志郡乙部町字元和					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2016年09月26日	河川・開水路・湖沼	有	一般道			


部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				日本データサービス(株)	点検責任者		神尾 友二
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁05			
	横桁						
	床版	I					
下部構造		II	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部		I					
その他		II	破断	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	下部工に凍害によるひび割れ及び剥離が見られる。進行すると 沓座面の耐力低下の要因となるので、状況に応じて対策が望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1981年	17m	7.0m
		
【起点】		【終点】

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	41° 57' 11.72"		
				経度	140° 8' 7.71"		
五厘沢橋 (フリガナ)ゴリンザワハン	滝瀬2号線	北海道爾志郡乙部町字滝瀬					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道乙部町	2017.1.30	五厘沢川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者			日本データサービス(株)		点検責任者		神尾友二	
点検時に記録				措置後に記録				
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	II	漏水・遊離石灰	写真001,主桁01				
	横桁							
	床版	I						
下部構造		II	漏水・遊離石灰	写真004,下部工01				
支承部		I						
その他		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	予防処置として、橋面防水が望まれる。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点		終点
1999年	7m	3.70m			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。